



サボリ系女子が
水責めご奉仕に勤しむお話

H2O

XX学院プール棟

彼女の名前は汐澤すずな
XX学院2年生

いつものように奉仕補習のために
プールへ訪れていた

はーっ…だる…

奉仕補習とは

成績や出席の足りていない生徒が
教師に対して体でお奉仕することで
ポイントを稼ぐシステム
当然表向きは秘密とされている

T教師は水責めマニアとして

一部に知られており
普通の生徒はまず避けるのだが
成績優秀ながらサボリ魔のすずなには
てっとり早くポイントを稼ぐのに
都合がよかった

センセ
来るの遅っ！
今日は何させる気なんだか…

やあ、すずなちゃん来たね
相変わらずちっこくてかわいいねえ

(きもい…)

迎えた男は
科学教師のTだ

さっそくすずなは
プールへと入っていく

ご奉仕レベル1
水中撮影

最初はかならずこの撮影からスタートする
水中で様々なポーズをとるすずなを
小型ポンペを抱えたT教諭がネットリと撮影していく

プネ

うん

243

244

245



少しずつ要求がエスカレートしていき、
すずなはそれに応えるように
水中で自慰行為に耽る



少女は最低限の息継ぎだけで
プールの底に留まり続けていた



ご奉仕レベル2
息止めえっちプレイ

さすがに毎日やってると
うまくなるもんだねえ

(いちいちキモイ...)

冷えた体を温める等といいながら
教師の男はすずなを当直室のバスルームへと
連れ込んでいた



よし、
このまま沈んじゃおうか!



すずなは男の肉棒を根本まで
飲み込んだままバスタブの底に
押さえつけられた

02:03



んん

んん

プッ

んん

んん

おっおっ！
喉奥の刺激で
またイキそうだぞ！

03:21



どうだ？
うまいか？
そうかそうか！

04:33

グッ

まだ満足し足りない教師は
必死に呼吸するすずなを
再びバスタブに沈め
浮かばないように固定する

00:53







おおおっ!
締まる締まる!

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ



ドブッ ドブッ ドブッ

グッ

ビクッ

ズン

んっ
!!!

こりや止まらねえわ！
まだ耐えてろよ！

パン パン パン パン

グッ

ビクッ

おおっ

ビクッ

んあ

05:32

ふうー！
いくらでも射精するな
この穴は！

الحق

ビュン

心！

06:29

まだまだ気合が足りんようだな？
罰としてそのまま後1分程沈んでろ！

ん？
いつの間にか
意識が飛んでたか

ゴッ

びっ

びっ

07:15

びっ

ゴッ

ゴッ

ご奉仕レベル2
先生の休憩タイム中自主トレ

教師の男がタバコ休憩中はこうして
自主トレという名の
強制息止め訓練が課せられる

「
つ
お
お
」

03:56



閉息タイムが5分に近づくと
すずなはゆっくりと息を吐き出していく
もちろんこれも教師のいいつけだ

「つボホ」

04:53



すずなは体を左右に振りながら
苦しさに耐え続ける

しかしこの訓練で許しが出たことはほぼない

「つボホ」

「...」

「...」

05:43



プールサイドの男が優雅に
タバコをふかしている中、
水中で拘束され続けるすずなは限界を超え
やがて意識を失ってしまった

「
つ
お
お
」

が
っ
8

きゅん...
きゅん...
きゅん...

06:54

ん

ん...

ご奉仕レベル3
石壺風呂

運が良ければこの辺りで解放されることもあるのだが
大抵は教師の責めスイッチが入ってしまい、
さらに過酷なご奉仕ネタが披露されることになる
これはその例のひとつ

ぷはあ…
ええっと…
17…回目だっけ…

はーっ

はーっ

キャッ..

すずなは浸かっていられるギリギリの熱さの
石風呂に入れられていた



そしてしばらく呼吸を整えた後
息を全て吐いてから石壺の中に身を沈める

和ッ...

この状態で300秒数えながら
耐えるよう言われていた

そしてこれを30セット終えるまで
続けなければならない

233

235

234



あは…
単位げつとするのも
結構きつ…

いゅー

いゅー

キャッ…

ん。

ん。

ん。

長時間の拷問チャレンジを続けるすずなの姿を
少し離れたところで教師の男は満足気に眺めていた





センセ…30回…
くりあ…

和刀...

教師の男はおもむろに木の蓋を手に取り
壺に近づいてくる

こっから限界チャレンジなー!!
死ぬ気で数を数えてるよー
すずなはガチめに絶望しながらも
健気に心の中でカウントを進める



やがて石壺の中から僅かにしていた
呻き声はなくなり静かになった
しかしすずながこの中から救出されたのは
もうしばらく経ってからだった

456

4

ご奉仕レベル3
逆さ水責めくすぐり

逆さに釣り上げられたすずなは
頭を水槽に浸けられ苦悶の表情を浮かべる

教師の男はその前に座り
すずなの姿をじっと眺めている

ズボボ...





そして手元のボタンを押すと
機械仕掛けの羽がすずなの敏感な部分を
くすぐり始める

水槽の中の少女は身をよじりながら
息を吐き出していく

ズボズボ...

ぎゃがにばう
ーにばう

ぎゃがにばう
ーにばう

シャカ

シャカ

デグッ

デグッ

↓

フム

フム

フム

フム

ニハッ



しばらくしてから男は立ち上がり
今度はすずなの秘部に電マをあてがう

2つを刺激を同時に受け
すずなは頭をブンブンと振りまわす

ズボズボ...

かばーん...

かばーん...

ビーン

ビーン

ミーン

フム

フム

フム

フム



やがて吐き出す息もなくなった少女は
回をパクパクさせながら
尚も続く責め苦に抗っている

あが

ビーン

ぐわん

ぐわん

お、失神したか
結構もったな

男はすずなの頭を水面の上に引き上げ
意識を強制的に戻すと、再び水槽の中に落とし
同じことを繰り返すのだった

ズボボ...



ご奉仕レベル3
酸欠耐久特訓

これは次の日が休日等の
日程に余裕があるときに行われる責めである

すずなが大掛かりな拘束具でガッチリと束縛されている
教師の男が工作部の余り物で作ったらしい

大きめの水槽の中で両手足の自由を奪われ、
さらに機械に侵され続ける



男曰く、この装置の目玉は
拘束具の内部に酸素濃度計測装置が仕込まれており
酸素濃度が一定以下になると
最低限の呼吸が許される仕組みのようだ



んあ♡♡

ん♡♡

！

さらに腔内を貫いているピストンマシンも
同じタイミングで動き出すらしく
酸欠と絶頂を同時に楽しむことのできる
ハイパーマシンなんだそう

ズン

ズン

ズン

ズン

それじゃとりあえず
明日の朝まで耐えてるよー

常時酸欠に悶えているすずなの耳には届いておらず
遠ざかっていく教師の姿を見送りながら
何度目かの酸欠絶頂に達するのだった



ご奉仕レベル3
固めるすずなちゃん

また別の日
すずなは今度は固まる粘土のようなもので
四肢をガッチリと固定され
大型水槽の中に閉じ込められていた

ちよ、待っ…
手足が1ミリも動かな…

以前の酸欠放置プレイが
トラウマになっており
あたりをキョロキョロと見回す



ヨシ、準備完了！
イクゾー

ドブ

んー！？

ブーっ

トブ

呼吸の確保とゴーグルを装着させて、
頭の上からドロドロの生暖かい液体を
投入していく



液体が水槽に貯まると
すずなが違和感を覚えたのか
目を見開いている

液体がカチコチに固まり、
一切の身動きができなくなったのだ

ゾクゾク

ゾクゾク

コレは中和剤使わないと
ずっとこのままだからな
安心してその中にいていいぞ

それじゃ例の酸欠システムスイッチオン！

それじゃ俺は帰るから
連休明けまで気合で生きてるよー！

だ
ぢ
て
!!
...

すずなは精一杯の声で抵抗するも
部屋の電気が消され、一人残された

う
ぎ
ゃ
う
う
う

い
い
い
い
い

彼女は体をピクリとも動かさない中
ひたすらに耐え続け、
救出されたのは2日後であった

もちろん限界酸欠チャレンジの記録を
ガッツリ更新したのだった

ご奉仕レベル4
加圧タンクぷれい

何かの研究に使われていた大型加圧タンクを
密かに改造して使えるようにしたと
教師の男が自慢げに語っている

そしてそのタンクには既にずずなが
閉じ込められていた

すでに呼吸を絶たれていて
アクリルガラスをベシベシと叩いている

00:35

まあ人間用じゃないが
とりあえず試してみるか

男が手元のスイッチを押すと
タンクの中のすずなが顔をしかめる

わずか1分程度で10気圧までゲージが上昇した
つまりすずなは水深100M相当にいることになる

もう一度スイッチを押すと今度は
1分で元の水圧に戻った

0 1:56

ふんふん、
大丈夫そうだな

再びスイッチを押すと10気圧まで上がる

すずながパニックになり暴れているが
男は意に返さない

04:03



10気圧を3往復させた後
もう一度10気圧まであげて耐久させていたところで
すずなは意識を失ってしまった

その姿を男は満足気に眺めている

07:23

通常水圧に戻した後に
救命システムを稼働させ、
すずなは水中で意識を取り戻した
(マスクを装着し電流を流すという力技だが)



よし、ラウンド2イクゾー

この後すずなは3時間ほど
男の玩具になっていた



イヤイヤ、ムリムリ！
いくら私がちつこいからって
こんなの入らないって、センセ！

やってみなきゃ
わからんだろうが！

ご奉仕レベル4
キツキツ金庫収納

そこそこの大きさの古い金庫を横倒しにして
水を貼った状態でずずなを
押し込めようとしているようだ



教師の男が思いっきり体重をかけると
メリッという音と共に
すずなの体がすっぽりと収まった
おお、やっぱ入るやんか！

そのまま無理やり扉を締めて
完全にロックされてしまった

01:32

んー

んー

02:53

03:37



ほんのわずかながら
すずなものすごい
うめき声が聞こえている

05:01

06:17

07:13





ゴホッ…
無理…

狭い動けないなんも聞こえない…
苦しい苦しいくるし

はーっ

はーっ

めずらしく呪詛のような言葉を羅列している

これが男のドSマインドに火をつけたのか、
即座に沈め直し、扉を閉じてしまった

02:17

04:46

05:24



06:07

07:01

07:57

完全に静かになってから
男が扉を開けると、
すずなは完全に意識を失っていた





金庫から引きずり出された後、
意識を取り戻したはずなを
男はそのままプールへと引きずり込む

プッ



完全にビーストモードになった男の力の前に
すずなは無抵抗で蹂躪され続けていた

ゴボゴボ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ ズッ ズッ ズッ

ゴボゴボ



教師は無限の精力ですずなを犯し続けるが
一切呼吸を与えられていない少女は
やがて力尽き動かなくなってしまった

ユサ

ん

ん

ん

教師は無限の精力ですずなを犯し続けるが
一切呼吸を与えられていない少女は
やがて力尽き動かなくなってしまった

ユサ

カッ

ズルズルズル

センセ…ちょ…げんか…

すずなが若さパワーでなんとか意識を取り戻すも
今度は首吊り状態で天井から吊るされている



チャッ



野獣とかした男はすすなと共に
水深20Mまで一気に潜行し
繰り返しすすなどの水中の口を没頭している



ちよ…これ…
ほとんど息できな…
すずなの体の状態など目もくれずに
再びプールの底へ沈んでいく





その後2時間程、浮上と潜行を繰り返しながら
延々とすずなの体を貪り続けた

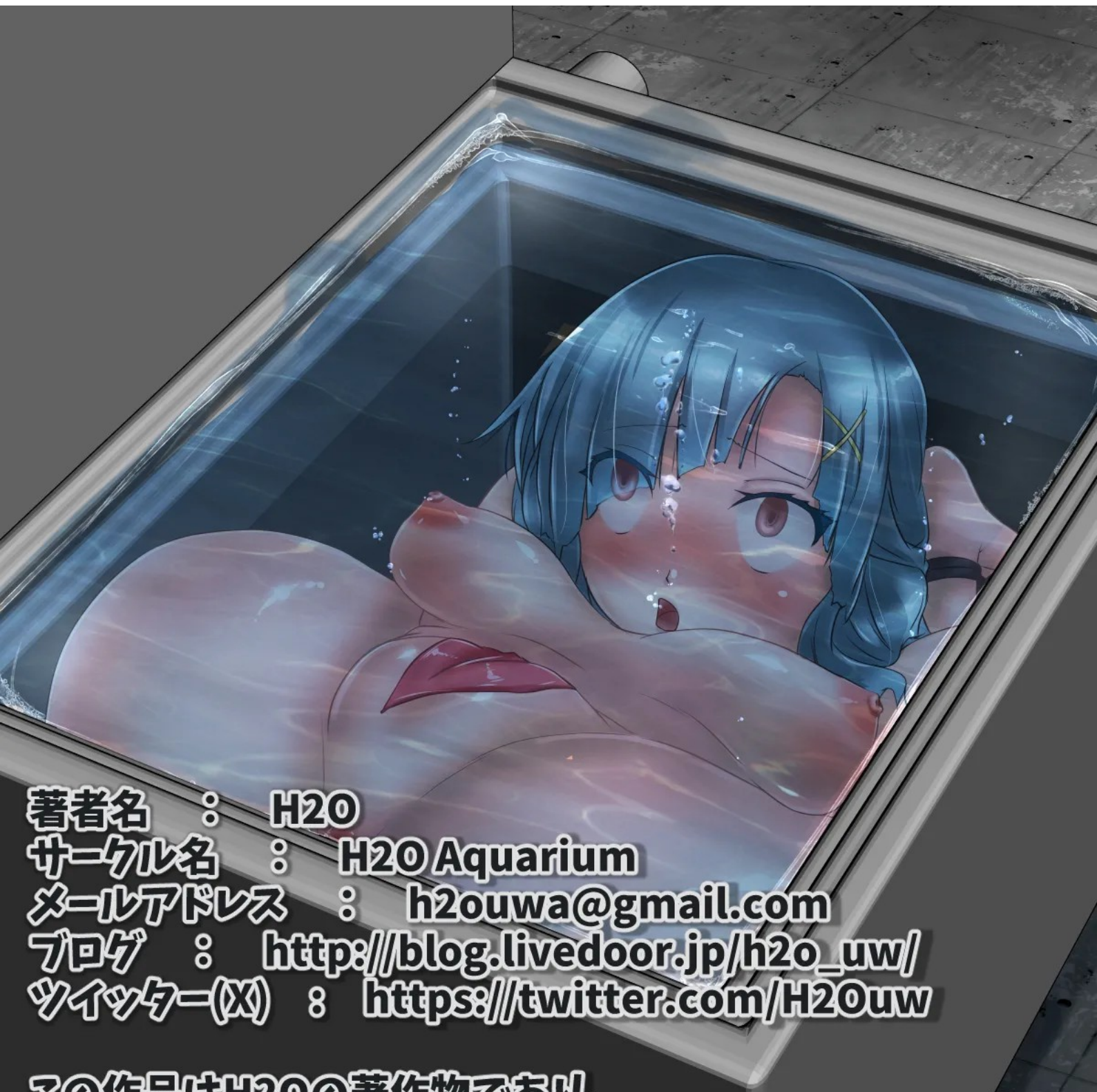
すずなはその間、5回以上の失神と
それより遙かに多い酸欠アクメを経験しながら
この日の補習を終えたのだった

ゴ

ゴ

ゴ

20M
ゴボボ



著者名 : H2O
サークル名 : H2O Aquarium
メールアドレス : h2ouwa@gmail.com
ブログ : http://blog.livedoor.jp/h2o_uw/
ツイッター(X) : <https://twitter.com/H2Ouw>

この作品はH2Oの著作物であり、
無断での転載・複製・AI学習・アップロード等を禁止します。

**サボリ系女子が
水責めご奉仕に勤しむお話**





























































































































